



① 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 願

昭和47年6月6日

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1 発明の名称

モール取付方法

2 発明者

住 所 埼玉県大宮市日進町2丁目1910番地
氏 名 関東精器株式会社内

3 特許出願人

住 所 埼玉県大宮市日進町2丁目1910番地
氏 名 関東精器株式会社

(国籍) 代表者 大野 和彦

4 代理人

東京都千代田区丸の内2丁目6番2号 丸の内八重洲ビル330号
郵便番号100 電話 (212) 3431 (代)
(3667) 井理士 谷 山 輝 雄



47 061926

①特開昭 49 19258

④公開日 昭49.(1974) 2. 20

②特願昭 47-61928

②出願日 昭47.(1972) 6. 6

審査請求 未請求 (全3頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6473 31
6324 53

53 E3
960A3

明 細 書

1. 発明の名称 モール取付方法

2. 特許請求の範囲

パネル類の平面より起立する堤部2の側面の少なくとも一側にパネル裏面と連続する透孔4を複数個設け、上記透孔の一縁と係合しうる係止部3bを形成したモール3を上記パネル堤部に嵌着するようにしたことを特徴とするモール取付方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明はモール、たとえば車輛用合成樹脂製ラジエタグリル計器板、リアグリルや電気製品の正面パネル等のパネル類に取付けられる装飾用モール等の取付け方法に関するものである。

従来これら商品へのモール取付けは、相手部品に溶着するフラスナーによつて取付けたり、又はモールにピン等をスポット溶接し、部品の取付孔に該ピンを挿入折曲げる等の方法により行なわれていたが、これらの方法は特別な部品を必要とし、大型の組立装置を要したり、又、組立工数

が大となる等の欠点を有している。

本発明は、成形品を特殊な形状に成形すると共に該成形品形状と適合しうる特殊形状のモールとより成るモールの取付方法を提供せんとするものである。

本発明の一実施例を第1図に基づき説明すれば、1は合成樹脂成形パネルであつて山形状の中空堤部2に装飾用モール3が取付けられる。パネルの中空堤部2の側の斜面2aには透孔4が適当な間隔をおいて複数個設けられている。この透孔4は斜面2aに開孔し、パネル裏面と連続している。パネルは2分割型によつて容易に一体成形できる。

一方モール3は、ステンレス鋼板等を厚ぼり字形に成形してなるものでその側面3aは内側に折り込まれ、他側は上記パネル1の透孔4のピッチと同間隔で、かつ透孔の幅より若干小さい幅の舌片3aを複数個設けられ、舌片3aの先端は内側に折り込まれて係止部3bを形成する。上記モール3をパネル1に取付けるには、パネル堤部2上方



よりモール3を圧入すれば、係止部3bが透孔4の上縁4aと係合してモール3とパネル1は確実に固定される。

本実施例によれば、矢印A方向より目視した場合には、透孔4及び舌片3a等のモール取付部は見えないので美観は極めて向上する。

第2の実施例を第2図に基づき説明すれば、1はパネルであつて、縦断面T字状の堤部2は、パネルより上方に突出し、堤部の両側面にはパネル裏面と連続する透孔4が適当な間隔で複数個形成されるが、パネルは2分割型によつて容易に成形される。モール3はほぼU字形であつて両側の前記堤部2の首部に対応する位置に係止部3bを形成する舌片3aを具備している。上記モール3の取付けはパネル堤部2上方よりモール3を圧入すれば完了する。

第3図に示す第3の実施例におけるパネルは、山形状の堤部2の両側側面と、パネル下面とに連続する透孔4を設けたので同じく2分割型で容易に成形でき、又、モール3には、内側に向つて打

特開 昭49-19258(2)

出しにより係止部3bを設けたものである。

本発明は上記したようにパネル類の平面より起立する堤部2の側面に少なくとも一侧にパネル裏面と連続する透孔4を複数個設け、上記透孔の一縁と係合しうる係止部3bを形成したモール3を上記パネル堤部に嵌着するようにしたことを特徴とするモール取付方法であつて、本発明によればモール3はその一部に係止部を設けパネルには堤部側面に開孔する透孔4を設けるのみなので部品形状は極めて単純であり、パネル1も単純な2分割型で容易に成形でき、上記モール3を堤部1に押圧するのみでモールとパネルの組立が完了するので、組立工数は極めて小さくなり、取付けにあつても他の取付商品たとえば、ネジやフアスナー等も一切不要であるので部品点数も削減できる。

そのうえ本発明は、透孔4や係止部3bを設ける位置を通宜選択することによつて極めて美観に富むモール付パネル類を提供できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第一実施例を示す斜視図、第

2図は第2の実施例を示す斜視図、第3図は第3の実施例を示す斜視図である。

- | | |
|-------|--------|
| 1…パネル | 2…堤部 |
| 3…モール | 3b…係止部 |
| 4…透孔 | |

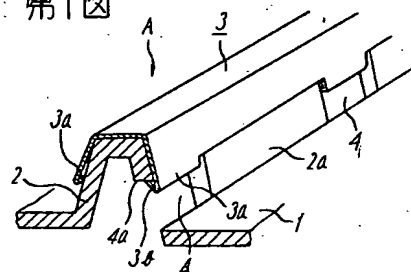
代理人 谷 山 輝 雄

安 浦 清

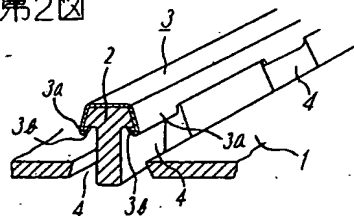
岸 田 正 行

新 部 興

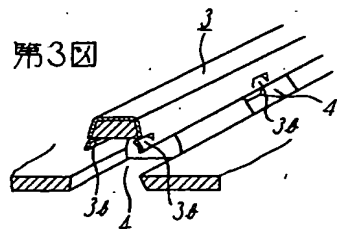
第1図



第2図



第3図



(5)



特開 昭49-192583)

5 添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
- (2) 図面 1通
- (3) 委任状 1通
- ~~(4) 出願審査請求書 1通~~



6 前記以外の発明者、特許出願人または代理人

~~(1) 発明者~~

~~(2) 特許出願人~~

(3) 代理人

東京都千代田区丸の内2丁目6番2号 丸の内八重洲ビル330号

(6348) 弁理士 箕浦



同所 (6754) 同 岸田



同所 (6753) 同 新部 興治

